

科目名	企業社会論 I
配当年次	1 年次
開講期間	春学期
単位数	2
担当教員	塚本 成美(ツカモト ナルミ)
期間・曜日・時限・教室	春学期 火曜日 2 時限 1 7 - 3 0 6

※

授業の目的・目標

①授業の概要：企業は何のために存在するのか。企業は、利益をあげていくためにさまざまな事業を営みながら活動をする持続的な経済組織体である。しかし、多くの不祥事が企業を倒産や解散に追い込んでいる近年の例をだすまでもなく、法的あるいは社会的に逸脱した活動をすることは企業と働く人間にとって致命的な打撃となる。企業は社会的存在であり、社会的責任を負っている。本講義では、企業に要求される社会性(倫理性)と経済性(合理性)の矛盾がどこからくるかを解明しつつ、現代企業の対応について検討する。

②授業の目的：職業生活で直面する様々な問題を根源から分析・洞察し、自分なりの見解が持てるようになる。

③習得できる力：経営学部ディプロマポリシーあるいは全学部ディプロマポリシーとの関連については、別紙に示します。

④授業の到達目標：企業や労働と社会を結びつけて考えることができるようになるため、現代における「生きにくさ」の原因の一つを理解できるようになり、自分を見失うことなく他人と協調したり、問題に直面したときに自分の良心にしたがって取り組むことができるようになる。

⑤実務経験と授業内容との関連：なし

1回の授業について

・予習（1時間45分）：授業資料となるPDFを一週間前にWebclassにアップするのでよく読んでおくこと。

・授業で取り上げるPDFと参考書などにより、授業の大まかな流れをつかんでおくこと。次回対象となる項目については各授業の終了時に説明する。

・復習（1時間45分）：授業で取り上げた重要なポイントを中心に、ノートを見直し論点を整理して、確認テストを作成・提出すること。次回授業時に適宜内容を確認し、フィードバックを行う。

課題の配布や提出を行うため、WebClass等のLMSを用います。

準備学習等の指示

講義スケジ

ュール

■ 1回目

【テーマ】 企業と社会—企業活動の社会的影響(シラバスの説明)

【到達目標】 講義の問題意識と問題設定を理解することで、企業活動の社会的影響を知ることがなぜ大事なのかを考え、自分なりの問題意識をより深く探求することができるようになる。

【準備学習】 シラバスをもちいて本講義の問題設定と構成を説明しますので、シラバスを読んできてください。

■ 2回目

【テーマ】 企業社会論の問題領域

【到達目標】 経営と社会と人間の結びつきを考えることで、事業成功のためではなく人間にとって経営がどのような意味を持っているのかを理解できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくとう理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

■ 3回目

【テーマ】 経営の概念

【到達目標】 経営のドイツ的な概念である社会単位としての経営概念を学ぶことで、企業経営が特殊な人間集合体であることを理解するとともに、日本の経営=会社の特質を理解できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくとう理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

■ 4回目

【テーマ】 技術と人間

【到達目標】 技術の発展と人間と社会の関係考えることで、来たるべき技術の進歩が人間社会にとってどのような意味を持つのかを洞察することができるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくとう理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

■ 5回目

【テーマ】 社会問題と社会学的想像力

【到達目標】 自己と歴史と社会を結びつけて考えるミルズの社会学的想像力の概念を学ぶことで、現代企業経営の社会的意義と問題性を自分の問題意識から考察することができるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくとう理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

■ 6回目

【テーマ】 企業社会の特質

【到達目標】 資本主義的経済活動のもたらした合理的社会の特質を理解することで、現代社会における企業の構成的役割を理解することができる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見てお

くと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です

■ 7回目

【テーマ】 企業—経営社会問題とは何か。(課題レポート及びフィードバック)

【到達目標】 講義の内容に沿って経営の社会的問題性を論述することで、文章力が付くだけではなく、考えをまとめ自分の言葉で表現できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)や講義時のノートなどを見直し、企業—経営社会問題とはどのようなものかについて事例を調べたり自分なりの論理構成をたてておくと、レポートを書くのに便利です。

■ 8回目

【テーマ】 企業社会再編の基礎—企業社会における人間と企業

【到達目標】 資本主義的経済社会が本質的に抱える矛盾の構造を理解することで、自分がどのような時代に生きているのかを理解できる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

■ 9回目

【テーマ】 企業の社会改革活動—フィランソロピーと企業倫理

【到達目標】 企業が社会問題の解決に向けてどのような諸施策を用意しているのかを知ることで、企業の社会的責任を理解することができる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

■ 10回目

【テーマ】 企業社会政策過程

【到達目標】 企業倫理の限界とドイツ経営社会改革の歴史的事例を学ぶことで、社会を改革するためには経営を外圧によってかえるのではなく、経営内部から人間形成をつうじて変えることも必要であることが理解できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイントを見ておくと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

■ 11回目

【テーマ】 トップ構造と機能—企業経営の秩序原理

【到達目標】 企業経営をつらぬく戦略的理性がどのようなものであるか、アメリカにおける戦略論のエッセンスと成立、戦略策定過程を学ぶことで、企業経営の人間化がなぜ困難であるのかを理解できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

■ 12回目

【テーマ】 トップの役割と戦略理性

【到達目標】 トップの役割と経営の本質的性格を学び、日米の違いを理解することで、日本における経営生活の現実を理解することができるようになる。

【準備学習】Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

■13回目

【テーマ】 社会秩序と経営

【到達目標】 経営と社会秩序の結びつき、および企業社会改革の方向性を理解することで、人間らしい労働や社会に貢献する経営のあり方を考えられるようになる。

【準備学習】Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)や講義時のノートなどを見直し、経営社会改革や経営の民主化とはどのようなものかについて自分なりの論理構成をたてておくと、レポートを書くのに便利です。

教科書

なし。ただし、講義資料のパワーポイント(PDF)は、テキストの代わりになるようになかなりの内容を書き込みます。

参考文献

フロム E.(1958)『正気の社会』(加藤正明/佐瀬隆夫訳) 社会思想社

ミルズ C.W.(1971)『ホワイト・カラー—中流階級の生活探究』(杉政孝訳) 東京創元社

1.講義方式でおこないます。

①原則として対面でおこないますが、Zoomによるオンラインのリアル配信もおこないます。

②講義は録画してWebclassにアップし、オンデマンドでの視聴もできるようにします。

③講義の内容は、事前にWebclassにアップロードしておきます。

2.セメスター期間中に1-2回講義内容についての課題レポートを書いてもらいます(授業スケジュール参照)。課題レポートについては、次の講義時にフィードバックをおこないます。

授業の方法

3.双方向性を確保するために、講義後に確認テスト(リアクションペーパー)を提出してもらいます。確認テストでは、その日の講義内容および質問やわかったこと、感想などについて書いてもらいます。

①次回講義の最初に前回講義の復習をかねて、確認テストの答えと質問等のフィードバックをおこないます。

②履修者のコメントや感想は、匿名でWebclassにアップし共有します。いろいろな意見を参考にしながら講義内容の理解を深めていきます(問答法)。

4.課題レポートと確認テストの提出はすべて、Webclassでおこないます。

学生のオンラインなどを含めた学修をサポートするため、下記のLMSを使用します。

- ・WebClass

- ・Zoom

成績評価方法

【評価方法・割合】 確認テスト(50%)、中間課題レポート(25%)、期末テスト(25%)で評価します。

【基準】

(1)講義の理解度を、レポートの場合は、①論点が網羅されているか、②論点に関して十分な説明や論述が行われているか、③問題を正しく理解し、自分の言葉で理解

して表現しているか、④論理的に構成されているか、⑤全体の分量などで評価します。

(2)確認テストの場合は、①正解がわかっているか、②質問は適切か、③講義内容を言語化できているかなど、で評価します。

【フィードバック方法】なお、課題等については、「授業の方法」でも書いたように、次回講義時に全体に向けてコメントします。

オフィスア
ワー

居室 17-412

ホームペー
ジ

その他特記
事項

添付ファイ
ル

[前画面へ戻る](#)

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011